

青少年教育施設振興事業

期待される効果

(新規)

R5 当初：249 千円 (入)249 千円

青少年センター

事業概要

小学生高学年児童を対象にした主催事業として開催する。高知大学農林海洋科学部の協力により、同大学の演習林での間伐作業や樹木観察を体験した上で、林業や自然環境に関わる課題について学び、その課題解決について参加児童全員で考えあうことで、より深く森林の大切さを理解し、自然環境を守っていこうとする態度を育てる。

- ◆ 山道を歩きながら大学講師から植林された木々の説明を聞いたり、間伐体験をしたりして、林業体験をすることによって、自然と人との営みに対する感受性、木や森に対する関心を高めることができる。
- ◆ 森林にある宿泊施設での自炊・宿泊体験により、森林の自然環境について実感することができる。
- ◆ 林業や環境保全に関する課題について児童たち自身が向き合い、解決策を考え合う場を設けることで、森林の大切さを理解し、自然環境を守っていこうとする態度を育むことができる。

現状・課題

昭和 50 年代から歴年登山やキャンプなど自然体験活動を開催してきた。平成 25 年から「森林探検隊」として高知大学演習林での間伐や炭焼きの体験を開始し、本年度は「林業探検隊」として日帰り開催した。

- ・ 日帰り日程では時間が限られ、短時間での体験活動となっている。
- ・ 林業や環境保全について学ぶ時間がなく、内容が深められない。
- ・ 意味のある体験にするために、時間の拡大とプログラムの充実が必要。

事業目標

森林で講話を聞いたり体験活動を経験したりすることで、自然に触れながら自然を身近なものと感じ、自然体験活動への興味・関心を高め、そのよさや楽しさを感じる。

また、普段は体験できない活動をすることで好奇心や探究心を高め、新しいことをやってみたいと思う感情を育む。

実施内容

- ◆ 小学校 4～6 年生を対象に、1 泊 2 日の事業として 20 名を募集する。
- ◆ 高知大学演習林の嶺北フィールドで以下の体験活動を実施する。
 - 林業や環境保全についての現状と課題について学習する。
 - ◇ 森林の働きについて、森林を守ることの大切さ（水資源の保持、防災として）を知る。
 - ◇ 森林が荒れていく現状について（担い手不足による放置、シカの食害など）知る。
 - フィールド内での林業体験・自然観察
 - ◇ 樹木の観察をしたり、林業についての話を聞いたりして、実地で学ぶ。
 - ◇ 除伐作業を体験し、間伐材などを活用した木工工作に挑戦する。
 - ◇ 演習林内にある宿泊施設に泊まり、1 日目夕食・2 日目朝食は自炊し、森林での生活を体験する。
 - 林業や環境保全についての解決策を主体的に考える。
 - ◇ 林業従事者による体験談や林業への思いを聞く。
 - ◇ 林業や環境保全に関する課題について児童たち自身で向き合い、解決策を考え合う場を設け、森林との向き合い方をより深くとらえる機会とする。

協力

協力依頼予定団体

- ・ 高知大学
- ・ 農林海洋科学部
- ・ 森林総合センター
- ・ 林業大学校
- ・ 香美森林組合

将来

- ◇ テント泊での野外活動の充実
- ◇ 2 泊 3 日への拡大による内容充実
 - ・ 最新の林業現場の見学
 - ・ より深い自然観察や体験活動
 - ・ SDGs の観点での環境保全学習